

# 一 般 質 問

## 市政のそこが聞きたい!!

「質問順位による」

第1回(3月)定例会の一般質問は、11日、12日、13日の3日間に11人の議員から市政全般について質問がありました。  
主な内容は、次のとおりです。



三木 健正 議員

### ライドシェアについて

**問** 当市においてライドシェアを導入する場合、そのメリット、デメリットを勘案し、現段階として議論をすることが重要と思うが、どのような点に重点を置いて、検討しているか問う。

**答** 公共交通空白地帯の解消を図る一つの手段であることと、タクシー業界における運転手不足によって生じる移動手段の確保が課題となっており、この点においてメリットが大きいものと考えている。一方で競合事業者との調整

が十分に行われないと、大きなトラブルになりかねないと危惧している。ライドシェアについては、非常に期待し、取り組みすべきものだと認識をしているが、デメリットについて、十分に話し合いをしながら進めていかなければならないと考えている。

### 新給食センターの運営について

**問** 新給食センターの運営において、変更点など予定していることはあるか問う。

**答** 調理業務と配送業務の一元化を検討している。コンテナを牽引する配送員を1車両当たり2名体制とし、調理員の数名が配送補助を兼ねることとで、配送における安全性確保と衛生基準面での向上を考えている。

人材の確保については、今後と同じく地元雇用を重視していく。

仮に、調理配送業務の一元化を図ったとしても、雇用については、応募事業者に対し、プロポーザル選定基準の一つになることを提示した上で、選定委員会を実施していきたい。食材の調達に関しては、地産地消を大前提に、宿毛市内産をできる限り使用するため、幅広く探しているが、1回の調理に使用する食材の量が多くなってしまうため、対応可能な市内の事業者がいなという現状があり、苦慮している。

### 住宅耐震化事業について

**問** 住宅耐震化にかかる補助事業の制度内容の見直しなど、今後の方向性について問う。

**答** 能登半島地震後、市民からの住宅耐震化に関する問い合わせは、以前より増加している。令和6年度より、住宅の耐震について、さらに推進をしていくべく、住宅耐震改修促進費に係る補助金額を見直し、

増額する。

内容としては、改修設計費を、現行の20万5千円から27万円に、改修工費を現行の最大92万5千円から132万円に増額し、住宅の耐震化を加速していく。

また、一度に耐震改修工事を行わずに、2段階に分けて耐震改修を行う場合の1段階目に要する費用を補助する制度も運用しており、この場合は、最大102万円の補助が利用できるものとなっている。



東 新 議員

### 子育て支援策について

**問** 高知県人口減少対策総合給付金とはどのようなものか。

**答** この交付金は基本配分型と連携加算型の2つで構成され、交付対象事業は若者の増加、婚姻数の増加、出生率の向上、共働き子育ての推進という4つの目的に資する事業